

鹿島グループ中期経営計画 (2015～2017年度)

2020年度までの当社グループの中期的な経営の方向性を示すとともに、前半3カ年の経営計画である「鹿島グループ中期経営計画(2015～2017年度)」を策定いたしました。

【基本方針】

2020年度までの中期的な方向性について、①単体建設事業の利益率向上 ②先駆的な価値ある建設・サービスの提供 ③成長に向けたグループ経営基盤の確立 の三項目を「基本方針」として決めました。

1 単体建設事業の利益率向上

利益率向上

単体営業利益

200億円以上を安定的に確保

2017年度目標総利益

国内土木11%程度、国内建築7%程度

2020年度土木・建築ともに

業界トップ水準の高利益体質

2 先駆的な価値ある建設・サービスの提供

先駆的サービス

市場環境の変化を捉えた事業内容の進化

従来型請負施工+α

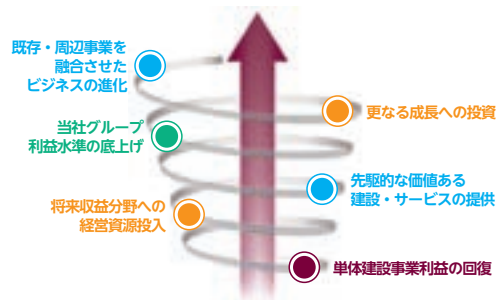


鹿島グループの強みを活かせる事業領域の強化・拡大を計画的に実施

グループ体となった事業戦略の展開

- 鹿島道路
- 鹿島建物
- カシマグループ株式会社
- 大興物産株式会社
- 鹿島リース株式会社
- KAJIMA U.S.A. INC.
- KAJIMA OVERSEAS ASIA PTE LTD.
- KAJIMA EUROPE LTD.
- etc.

3 成長に向けたグループ経営基盤の確立



部署間、グループ会社間の協働・連携の仕組みを整備・強化し、スパイラルアップ(好循環)を生み出すグループ経営基盤を確立

【事業戦略】

2015～16年度の2年間は「構造改善期間」として、現下の単体建設事業の低利益・施工逼迫状況への対策を集中的に実施して、単体営業利益200億円以上を「安定的」に計上できる体制を経営管理面とともに整備します。一方、当社グループの強みを活かせる事業領域の強化・拡大と経営基盤の整備を計画的に実施し、2020年度に向けて当社単体利益の更なる拡大とグループ内連携強化との相乗効果により、事業内容の質的向上と連結利益水準の更なる底上げを目指します。

【経営数値目標】

年度別経営数値目標

	2015年度		2017年度		2020年度
	連結	単体	連結	単体	連結
売上高	17,500億円	11,300億円	17,500億円程度	10,800億円程度	—
経常利益	430億円	220億円	650億円以上	350億円以上	850億円以上
有利子負債	3,800億円以下	—	3,700億円以下	—	—
ROE	—	—	8.0%以上	—	—

- 連結経常利益2017年度650億円以上、2020年度850億円以上の達成を目指す。
- 収益力の強化により営業キャッシュフローを拡大し、更なる事業基盤・事業領域の拡充に向けた戦略的投資に活用する。
- 内部留保を確保しつつ、株主に対する安定的な配当を行うとともに業績に応じた利益還元を行う。内部留保金については財務体質の強化・資本効率の向上等に活用する。